

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第4回朝霞第五小学校学校運営協議会	
開 催 日 時	令和6年2月16日(金) 午前2時00分から午後3時30分まで	
開 催 場 所	朝霞市立朝霞第五小学校 体育館3階 会議室	
出 席 者	飯倉昇明 白鳥成章 蔵田ひと美 菅原慎也 高野友則 橋本太樹 三好正浩 司会：手島牧子 記録：南雲秀隆 ※【欠席】 田辺敏晃	
会 議 内 容	(1) 令和5年度学校関係者評価委員会 (2) 令和5年度第4回学校運営協議会 ①「地域ぐるみのあいさつ運動」 ②令和6年度年間行事計画 ③生徒指導体制について	
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度学校評価書 ・ 令和5年度教職員自己評価結果 ・ 令和5年度児童アンケート集計結果 ・ 令和5年度保護者アンケート結果 ・ 朝霞五小・地域ぐるみのあいさつ運動キャンペーンポスター及びクリアファイルデザイン(案) ・ 「令和5年度地域とともに歩む学校づくりセミナー」国立教育政策研究所社会教育実践研究センター川田貴之氏講義資料概要「コミュニティ・スクールについて」 ・ 令和6年度年間行事計画(予定) 	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管(保存年限 年)	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後○か月
	会議録の確認方法 司会・記録による確認	
そ の 他 の 必 要 事 項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

《令和5年度学校関係者評価委員会》

1 開会の言葉 開始 午後2時00分

- ・あいさつ、資料確認（教頭）
- ・関係者評価について、進めさせていただきます。

[会議資料参照]

領域Ⅰについて

教頭・事前にお渡ししている資料について、またその他の意見について、ご意見いただきたい。

校長・校務分掌組織について、先生方一人一人の強みを生かせるよう考えている。次年度については、学年主任との兼ね方を今年度同様にしないよう、検討している。

領域Ⅱについて

倉田：道徳について、先生方が話し合っている姿を子供達に見せるとか、そういう場があっても良い啓発になると思う。

教頭：次年度、検討していく。評価委員の方の助言・提言にもあるが、廊下のゴミを拾わない、あいさつができない職員・子供ではいけないと考える。取り組むべき改善点として職員に継続して伝えていく。

正野：学力の定着はいかがか。

校長：前年度より校内で比較したら下がってきている。ただ、県平均よりは本校は高い。

- ・投力について、楽しく上げるようにする。

白鳥・大谷選手のグローブはどうしているか。

校長：クラスで回し、子供達が直に触ることができるようにしている。

領域Ⅲについて

教頭：今年度、保護者や運営協議会委員から多数のご意見をいただいたが、授業参観については、できるだけ担任が通常通りの授業を行うこととしたい。

また、朝霞市では、次年度の学校配信メールアプリ「ライズ」が「tetoru」に変更となる予定である。児童の出欠席も送ることができる。

領域Ⅳについて

校長：「特色ある」というのは、決して秀でていることをしなければならないということではなく、どこの学校にもある施設・設備をいかに活用するかが重要ととらえている。

白鳥：校長先生がおっしゃったように、学校図書館の利用などはその一つだと思う。教職員自己評価 No. 30 の質問項目などは、その表れと考える。

蔵田：本の紹介…子供達に読ませて心を育ててあげたい本の紹介「円周率の謎を追う」「王さまライオンのケーキ」

市の図書館をもっと活用してみてもどうか。

正野：五小の図書館が5階にあることは、利用率に関係しているのか。

校長：それはさほど関係ないと思われるが、「行きやすさ」とは関係しているように思う。

橋本：我々が子供の時と違い、調べものなどはスマホやタブレットでできてしまう。よって、あまり図書館にいつて調べものをするなどの行為が減ってしまっ

いると思う。

校長：その通り。しかしながら、紙の良さもあると考えている。

橋本：このことは、学校だけでなく公の図書館でも、問題になっていることである。

2 関係者評価について（教頭）

- ・それでは、資料にある教職員自己評価が妥当であるか、皆さまに評価願います。（いずれの領域についても、妥当と判断）
- ・以上で学校関係者評価委員会を終了とします。
引き続き、第4回学校運営協議会にうつらせていただきます。

《令和5年度第4回学校運営協議会》

1 開会の言葉（教頭）

2 会長あいさつ

- ・あっという間に今年度最後の学校運営協議会となりました。本日もよろしくお願いいいたします。
- ・『「ボランティア」はだれのため？その定義は？専門家・二宮雅也教授に聞いた』の資料をもとに。

3 校長あいさつ

- ・今年度も大変お世話になりました。
- ・学校がすべきことはなにか、をたくさん教えていただいた。また、支えられている、という安堵感、安心感や地域とともにある学校づくりを推進できる学校運営協議会の体制であった。
- ・先週あたり、インフルエンザにより複数の学級が閉鎖となりましたが、今週は休んでいた子たちも戻りつつあります。

飯倉：それでは本日の議事に移らせていただきます。この会議は原則公開するものとなりますが、委員の皆様には、ご賛同いただけますでしょうか？

（委員のうなづき）

傍聴人の方はいらっしゃいますか？

教頭：本日はおりません。

飯倉：本日の会議は、委員11名のうち、半数以上の出席がありますので、朝霞市学校運営協議会規則第10条により、成立となります。議事については、一括審議とします。

4 熟議

（1）「地域ぐるみのあいさつ運動」について（教頭）

- ・学区内掲示板への掲示依頼
- ・クリアファイル作成について
- ・ポスター等のイラストについては、すべて本校職員の合田教諭が作成してくれている。著作権の問題もあるが、そこはクリアできている。また、地域等に掲示依頼をするために、白鳥委員から「教育委員会後援」をもらうよう助言いただいた。教育総務課からは、後援承認通知書をいただいている。

【質疑・応答】

菅原：最近、以前と比べて学校内外であいさつができる児童が増えているように思う。（同様の感想…白鳥、蔵田、飯倉、正野、高野）

白鳥・正野：三中にいくと、生徒がよくあいさつをしてくれる。部活指導の成果と

思われる。

正野：標語の、「だれにでも」というキーワードが引っかかる。不審者事案が多くなってきているいま、あいさつをする方も気を遣う。「声をかけられた」とならないか。

教頭：「だれにでも」にかわる良いアイデアはありませんか。

(委員の様々な熟議によって、「にこにこ あいさつ すてきだね」に変更) ありがとうございます。

白鳥：五小発信で地域ぐるみのあいさつが広がっていくと良い。地域の中での防犯や協力体制にもつながると良い。

(2) 令和6年度年間行事計画について (教頭)

白鳥：11/2 (土) 学校公開日とPTA五小まつりの抱き合わせについて、先生方の参加率はどうなりそうか。できるだけ先生方にも多く参加していただきたい。

菅原・高野：ゲームの場所に来て、先生方が子供達にはなしかけていただければありがたい。保護者もうれしい。しかし、「働き方改革」が求められているいま、管理職から先生たちに「出てください」と言えない現状も非常に分かる。

(3) 生徒指導体制について

校長：2学期後半に、子供同士のトラブルがあった学級について、保護者や委員のみなさんに見守りのご協力をいただいた。大変ありがたかった。おかげさまで、少しずつ状況は良い方向に変化してきている。しかしながら、未だ課題があるので、引き続き、本校の教職員でも複数体制をしき、良い形で学年を終えられるようにしていきたい。

【質疑・応答】 特になし。

5 諸連絡 (校長)

- ・3月21日(木)に、市内の学校運営協議会研修会が開催される。今年度は本校の取組実践を発表することとなった。みなさんからのコメントもいただきたい。この後よろしく申し上げます。

6 閉会の言葉 (教頭)

終了 午後3時30分